



校長だより 第 69 号

すてきな島



H28.11.30 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつ・返事」
「気づき 考え」
「すぐに 行動する」

街頭あいさつキャンペーン 11.18(金)

後期の生徒会役員と教員で、あいさつ運動を行いました。朝登校する小学生や中学生にあいさつを呼びかけました。日間賀中学校のために、日間賀島のためになることを考えて、これから生徒会役員の生徒たちがいろいろなことを工夫しながら、がんばってくれることを期待しています。



租税教室 11.28(月)



税理士の方を講師にお招きして、3年生を対象に「租税教室」を行いました。税がなぜ必要なのか、どのように使われているのかなど、とても分かりやすく、お話ししていただきました。大人になっていく上で、しっかり理解をして、これからの生活に役立ててもらいたいものです。

朝会より 11.21(月)

生徒発表 (11月のテーマ：わたしが薦める本について)

鈴木 祐希 さん (2年)

ぼくが薦める本は、松久先生から薦めてもらった「手紙屋」という本です。

この本は、勉強嫌いな女の子が就職するか大学に行くか迷っている時に、「手紙屋」という人に出会い、手紙で会話するという話です。

ぼくは、本を読むのが苦手ですが、この本を読んで、本が少し好きになりました。松久先生から、「この本を読むと人生が変わるかもしれないよ」と言われました。読み終わった後でどうなるか、今から楽しみです。これからもこの本を読み続けていきたいです。

皆さんもぜひ、「手紙屋」という本を読んでみてください。あと、ぼくはまだ厚い本を読んだことがないので、これからそのような本にも挑戦したいです。

北川 雄基 さん (3年)

僕が薦める本は、山田悠介さんの「スイッチを押すとき」です。

日本で青少年の自殺がたえない現状を変えるために作られた「青少年自殺抑制プロジェクト」に関する話です。

押すだけで死ねるスイッチを青少年に渡し、その心情を観察します。その中で7年間そのスイッチを押していない4人の少女を描いています。今の日本には自殺をする人が本当に多いと思います。そのため、この作品は今の時代に合っていて、本当にこのようなプロジェクトが行われているのではないかと思います。

山田さんは、著書に「リアル鬼ごっこ」などの大ヒット作が多く、驚くべき最後が待ち構えているので、ぜひ読んでください。

朝会より 11.28(月)

生徒発表 (11月のテーマ：わたしが薦める本について)

鈴木 太陽 さん (1年)

僕が薦める本は、「チョコレートと青い空」という本です。

僕たちが普段食べているチョコレートはガーナという国から来ています。ガーナではチョコレートは高級品だそうです。ガーナの日本人に「チョコレートってどんな味なの?」と聞くと、必ず「甘い」と答えますが、ガーナでチョコを作っている子は、食べたことがなく、味を知りません。それどころか学校も行けず、一日中カカオの実を割って働いています。この本を読んで、普段食べているチョコレートは、学校に行きたくてもいけない子たちが作っていることを知りました。

普段あるものにありがたみを感じることに気がつける本なので、ぜひ皆さんにも読んでほしいと思います。

坂口 真弓 さん (3年)

私が薦める本は、村上春樹の「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」です。

世界の終りとハードボイルド・ワンダーランドという2つの並行世界が交互に描かれています。ハードボイルド・ワンダーランドという世界には、感情と影がなく、そこから脱出しようと試みる主人公と、世界の終りの主人公の脳には深い関わりがあります。

私は何度かこの本を読み返しましたが、その時にたどり着くところが毎回違います。主人公はどうするのがよかったのか、最後はどうなったのかなど、とらえ方は人それぞれだと思うし、読んだときの気分によっても変わります。私の中では、まだ理解できない部分をもつ本となっています。やはり、何回も読みたくなるような本で私はとても好きです。

境 啓悟 先生の話

この日の朝会では、こんな話をしてくれました!

柿の木のお話をします。

AさんとBさんの家は塀を隔てて隣同士です。Aさんの家に植えてある柿の木が大きくなり、隣のBさんの家の方に枝が伸びていきました。そこで、Bさんは、「邪魔だから切ってほしい」とAさんに言いました。Aさんは、「切る必要はない」と言って枝を切りませんでした。このことで大変こじれてしまい、ついに裁判となってしまいました。

裁判官がAさんに聞きました。「そこになっている柿は、渋柿ですか? 甘い柿ですか?」

Aさんは答えました。「甘くておいしい柿です」

そこで、裁判官は言いました。「それではその柿はどちらが食べてもいいことにしましょう」つまり、裁判官は「平和に解決しましょう」ということを言いたかったのです。

AさんとBさんの両方が足りなかったのは、「心の余裕」だと思います。自分の主張ばかり、自分のことで精一杯では、ちょっとしたことでイライラしてしまうことがあります。一番損するのは自分なので、そういう時は、警告だと考えるといいです。いつも心のどこかに余裕をもって生活していきたいものですね。

